

事務事業名	シティプロモーション推進事業				担当	総務部 企画課 総合戦略推進係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成19 年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	6.企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	本市の主な観光資源である木綿・温泉・SL・夏祭りなどを盛り込んだテレビ番組を制作、放映する。また、本市のイベント等をテレビやラジオ、真岡鐵道ラッピングで事前告知することで、本市を知ってもらい、より多くの人に訪れてもらえるようPRするとともにイメージアップを図る。 平成28年度からは、真岡市シティプロモーション冊子の発行や、PR動画や移住者インタビューなどを盛り込んだ冊子連動特設サイトを開設し、首都圏の若い世代をメインターゲットとした情報発信をしている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
29年度実績		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
・「とちぎ発！旅好き」とのタイアップ		ア 「とちぎ発！旅好き」延べ放送時間	時間	270	270	270	270	270
・とちぎテレビでのイベント告知		イ テレビでのイベント告知日数	日	30	30	30	30	30
・真岡鐵道気動車ラッピング		ウ PR映像の本数	本	13	6	9	11	11
・FM栃木（ほっとHOTもおか）でのイベント告知		エ FMとちぎ（ほっとHOTもおか）放送時間	時間		520	520		-
・真岡市プロモーション冊子作成		オ 真岡市PR冊子制作	部		2,000	10,000	5,000	-
・ペリテンライブ2017情報発信								
・アニメ（もおか“いちご”チアリーダー）の活用								
30年度計画								
・とちぎテレビ事業（アニメ他）								
・とちテレアニメフェスタ出展								
・ペリテンライブ2018情報発信								
・真岡鐵道気動車ラッピング								
・都内プロモーションイベント、移住相談会の開催								
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
埼玉、千葉、群馬及び栃木県内の住民		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 埼玉、千葉、群馬及び栃木県内の人口	人	17,372,643	17,387,013	17,457,042	17,472,108	17,480,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
本市の魅力を情報発信し、認知してもらうとともに訪れてもらう。		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア PR番組アクセス数	件	4,779	21,776	38,094	65,400	70,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
交流人口が増加し、観光の振興に結びつける。		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 観光客入り込み数	人	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,649	2,970,000
		イ SL乗客数	人	32,616	33,482	36,058	31,952	36,000
		ウ						
		エ						
		オ						

(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,188	8,284	10,049	16,133	10,735
			事業費計 (A)	千円	1,188	8,284	10,049	16,133	10,735
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	100	150	1,000	1,200	1,000	
		人件費計 (B)	千円	422	629	4,153	4,980	4,150	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	1,610	8,913	14,202	21,113	14,885

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成19年度、「観光の振興」が重点施策に位置づけられ、コストをかけても成果を向上させることになり、首都圏等へ向けた情報発信の手段として、テレビ・ラジオを利用し、広範囲にPRすることになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・テレビ・ラジオの利用者は減少し、スマートフォンの普及によるインターネットやSNSの利用者数が著しく増加している。また、事業を開始したときと比べて、情報発信ツールの種類が格段と増えている中で、どのツールをどのタイミングで、効果的にどのように利用するかが、訴求者に的確に情報を伝えるためのカギとなる。 ・平成28年度に「総合戦略推進係」を設置し、首都圏の若い世代をメインターゲットに、積極的に情報発信していくこととなった。 ・平成29年9月、とちぎテレビのアニメキャラクター「まろに えーる」の「春崎野乃花」を「もおか“いちご”チアリーダ」に任命し、アニメに関心を持つ若年層に向けて、市の知名度向上を強化していくこととなった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 交流人口を増やすことが目的であり、観光や商業の振興また、移住者の増加にも結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本市を知ってもらうために情報発信は必須である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 首都圏等へ情報発信することで、交流人口や移住希望者の増加に結びつける。 また、イメージキャラクターはイメージアップに有効な手段である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 様々な情報発信ツールを活用し、統一感を持って効果的に本市の魅力をPRする必要がある。 シティブロモーションを推進していくため、更なる情報発信の強化を図る必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 本市を認知してもらう情報発信の手段がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最低限の制作・放送費用等であり、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 番組制作等に必要の最小限の人件費であり、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 特定の人の受益はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 ターゲットの明確化とニーズ把握に努め、ニーズに応じながら、ストーリー性と継続性を持った事業の企画・立案と情報を発信していく。	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							